感動農家 たなべアグリ48

ブランディングを通じて、魅力ある農家を増やし
次世代に地域 農業を残す

地域課題

近年の農産物の価格低迷

梅は全盛期の価格から3分1
みかんは300万トンから
80万トン以下に生産量が下降

企業課題

後継者問題と耕作放棄地

稼げないから経営が縮小し
次世代に経営をバトンタッチできず、
さらに耕作を放棄する問題が起きる

昭和４８年生まれ 同級生の農家が集結！！

品質
価値
→ 感動 → 逸品

仲間と一緒に価値ある逸品を作り上げていくための仕組み

共通オリジナル デザインの ダンボール	ものづくりを伝える ECサイト ホームページ	地域や農家の 魅力を伝える パンフレット	新たな魅力づくり 耕作放棄地を 山に返すプロジェクト

個々の魅力を生かしたものづくりで田辺の農業にイノベーションを

十秋園　野久保 太一郎

地元素材×発酵×養鶏
畜産農業で地域課題の解決

とりとんファームは、遺伝子組み換えでない自家製発酵飼料で
元気に育った鶏たちの玉子を提供する農場です。

地域の課題
畜産商品が少ない！
未利用素材を解消したい！
美味しい野菜を作りたい！

×

自社の課題
安全な畜産物を生産したい！
地域貢献したい！
循環型農業を広めたい！

畜産業と食品加工業、野菜生産者、飲食店が手を取り合って地域課題の解決と共に
新たな循環型畜産農業のシステムを構築し、永続できる農業を目指します。

食品加工の副産物である、おから、酒粕、くず米などを発酵させ鶏の飼料に利用し、未利用素材を解消します
平飼い養鶏の副産物である、良質な堆肥は地元の有機野菜生産で利用し、安心して食べられる野菜を生産
健康に育った鶏のたまごや鶏肉、有機野菜は、地域の産直市場でも販売し、家庭の食卓へ
特色のある地域ブランド商品として飲食店、製菓店、旅館等で、美味しい名物メニューに生まれ変わります
マヨネーズ、スイーツ等の畜産加工品を、地域の目玉商品を開発し販売します

生産者とsorrisoの価値を高め、お客様を笑顔に

みんなで動かす農業

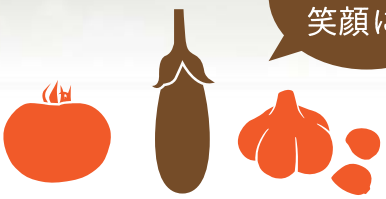
〈農家イタリアン sorriso の課題〉

自ら育てた野菜で料理を作っている事を知られていない。
田辺市に増えている観光客を取り込めていない。
→来店客の減少

〈地域の課題〉

若者の農業離れ（所得が少ない）
→農業の衰退
熊野古道歩き以外の街中での過ごし方の選択肢が少ない
→「もう1泊」しない

安全・安心！
生産者の所得UPに！



生産者とお客様をつなぐ拠点

1. 店内に生産者の顔写真やこだわりを表示
2. 生産者に来てもらい季節ごとのマルシェを開催

田辺市観光客
1位　オーストラリア
2位　米国
3位　スペイン

ベジタリアン率の高い
豪欧州のインバウンド対策！

「もう1泊」のきっかけに！

グリーンツーリズム

田舎暮らしや農業を体感できる宿泊施設
例えば・・・
まき割り体験、囲炉裏を囲んだ食事
もみまき体験、田植え体験
野菜の植え付け、収穫体験

自家野菜をPRできる！
外国人観光客が笑顔に！

（ベジタリアン）ビーガンメニュー

自家野菜をふんだんに使った
ベジパスタランチ
- 自家製にんにくのペペロンチーノ
- 自家製ドレッシングのグリーンサラダ
- 季節野菜の豆乳ポタージュ

※ビーガン・・・動物性を含まない食事

浅賀由貴乃

田辺を好きになるパン屋

地域コラボぱん

・十秋園の季節のみかんぱん
・カレー専門店Hanabeeのカレーぱん
・深山さんの紀州南高梅しそカツサンド

地元に愛されるお店づくり

・似顔絵コーナーの設置
・ドリンク無料サービス

外国人観光客にやさしいお店づくり

・留学経験を生かした英語対応
・メニューの英語表記

田辺に住み続けたい、また来たいと思えるパン屋を目指して

結果

地域課題の解決に貢献

・シャッター通り
・若者離れ
・外国人観光客の立ち寄れる場所が少ない

焼きたてぱん D'oh!

アップライフ株式会社　登坂知広

車のないライフスタイルの提案

地域コミュニティ活性化プロジェクト

自社の課題

- ●自動車保有台数の減少
- ●高齢による車離れ・人口減少

→ ●自動車販売台数の減少
　●メンテナンス入庫台数の減少

業績が下がり自社を縮小

地域の課題

- ●少子高齢化による人口減少
- ●高まる中心市街地域の高齢者比率

→ ●高齢者の孤立生活
　●高齢化地域の社会的扶養の高まり

自治会運営も厳しくなる

車がなくても顧客と繋がる ＋ **地域コミュニティを活性化**

入りやすい、行きたくなる、薬局

とらやの寺子屋

とらや薬局

診断結果

【地域課題】

人口減少、少子高齢化

【企業課題】

処方箋調剤での売上率99% ▶ 調剤報酬改定により利益率が変動

周辺（500m）の住人減少

来客人数減少

【とらや薬局の特徴】

門前調剤薬局	面調剤薬局	ドラッグストア
（医院等の近くにある薬局）	（周りに医院等がない薬局）	（一般用医薬品、食品等）

基本的に病気の人がお客さんの小売業
薬局あるから少し覗いて行こうとは思わない

まずは来てもらおう! 店を知ってもらおう!

とらやの寺子屋の仕組み

ワークショップ

処方箋の購入以外の方も**気軽に薬局に足を運んでもらうためのきっかけ作り**として薬や健康関連のワークショップ開催

親子で湿布づくり体験

ミニ薬膳カフェ

ママのためのスキンケア講座

アルコールとの付き合い方講座

相乗効果で集客の増加を図る

とらや薬局オリジナルカルテとメンバーカードズの発行

【会員制度を導入しメンバーズカード】
- 優先的に健康・薬の相談
- 新採用の商品の案内

【オリジナルカルテ】
- 飲んでいる薬や病歴のデータ管理
- 血圧の定期的測定と数値の記録管理と指導

定期的に足を運んでもらうための仕組み

yuriisu project

atelier bobo
nakayama tomofumi

田辺中心市街地の空き店舗に「遊べるギャラリー」を作る

自社課題

住宅着工件数の減少
ー>CG パースの需要減

ネットや安価な家具によって家具の値段の低下

ー>オーダー家具が高く見える
ー>そもそも田辺で家具職人に家具がオーダーできる事をほとんどしられていない

地域課題

過疎化・人口減少
ー>街なかのシャッター店舗増加
ー>どうにかしたいという思いは共通認識

ー>イベントとしてクリエイターや物販、飲食を集めてシャッターを開ければ人は集まる
(例：田辺エキストラ商店街)

・企業・行政・建築士・デザイナー・職人・クリエイター
・消費者・日本人旅行者・外国人旅行者

×

建築CGパース /3DCG/写真加工　木製家具/木製小物　ショップ

||

atelierbobo を使いたくなる、bobo じゃなきゃ出来ない仕組みを作り
yuriisu に新たな出会いや発見を求めて人や物があつまる

濵田表具店　濵田元輝

世界とつながる表具店

ワークショップの開催

～紀州材を使った軸、額、小物など～

自社課題

後継者がない
表具の仕事の減少
表具の認知度が低い

＋

地域課題

人口減少
人口高齢化
観光客向け
コンテンツの不足

ワークショップの開催

講師の育成

イベントスペースなど
利用してワークショップ
をする人材の育成

講師を育成することで
ボランティアから
CSV へ変わる

地元の三世代

老人ホーム等利用して
３世代が楽しめる
ワークショップ開催

日本人 × 日本人
日本人 × 海外観光客
海外観光客 × 海外観光客

コミュニティ発生！

観光客

地域を訪れる
観光客向けに
ワークショップを開催

街が活気づく

表具を通じて田辺市を熊野古道の良さを伝える事ができる!!

海外の観光客が表具の事を知ることで
インバウンドからアウトバウンドに変わる

世界とつながる濵田表具店の挑戦がはじまる

今ある「あたりまえ」を後世に残そう！ Leaves

自社の課題

●県内で植栽用の樹木苗の生産量低下

●消費苗の大半を種苗業者からの購入でまかなっている

将来的に苗木が安定確保できない！！

×

地域の課題

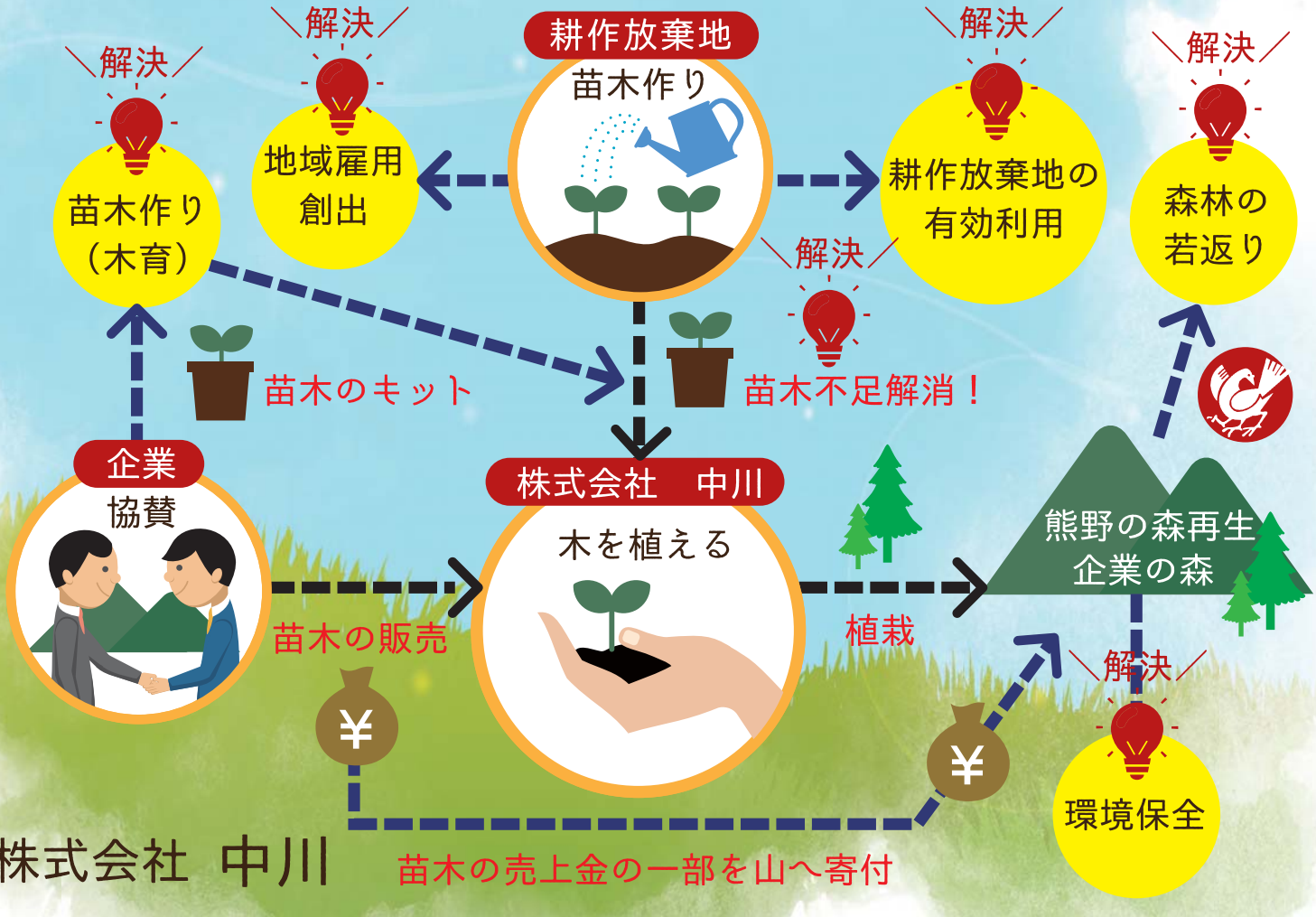
●耕作放棄地の増加●植栽放棄地の増加

●収穫適齢期を過ぎても伐採されず、森林の少子高齢化が進んでいる

治水効果の弱体化や土砂流出、水質浄化能力低下や大気汚染など環境が悪化！！

これ以上悪化する前に木を植えよう

今ある「あたりまえ」を後世に残そう



株式会社 中川

空家守構想

空家を見守り、仕事を創る

少子高齢化、人口減少により新築住宅の着工棟数が減少。それに伴い、建築確認申請、登記申請件数の需要も減少。

増え続ける空家

田辺市の空家率 18.9%

◎全国平均 13.5%　◎和歌山県18.1%

空き家戸数 7,220戸

◎田辺市住宅戸数 38,250戸

地域課題

市街地に密集

駅から2km圏内に52%空家がある

■空家が管理されていないと…

◎老朽化による倒壊等の危険
◎地域の景観破壊と治安の悪化
◎建物損壊による事故 損害賠償問題
◎近隣とのトラブル等

■それでも管理されていない空家が多い理由

◎所有者の高齢化
◎相続にした所有者が遠方在住
◎管理はしたいが、時間がとれない

■対策として

空家対策特別措置法が施行

平成27年2月26日に施行
空家等の所有者は、周辺の生活環境に影響を及ぼさないよう、家等の 適切な管理に努めるものとする

田辺の空家を見守るシステムが必要

【所有者】

管理の手間や時間が省け防犯対策や近隣とのトラブルを防止

【地 域】

景観維持、地域の防犯対策に安心して暮らせる地域に

行政・関係機関 ⇔ **地域住民（自治会等）**

連 携

空家守グループ

地域の専門家と連携した組織

不動産屋・工務店・美装屋・造園屋・解体屋・ 建築士
土地家屋 調査士・司法書士・弁護士・ 不動産 鑑定士

所有者 ⇔ 相談窓口 / 管理契約 / 管理報告 ⇔ 空家守グループ ⇔ 相談窓口 / 紹介斡旋 ⇔ **借り手 買い手**

借り手 買い手：移住者 / 民泊・GH・SH / コミュニティー住宅 / ワーケーション住宅 / 等々

空家守グループ ⇕ 作業指示 / 管理報告 ⇕ **管理スタッフ**

管理スタッフ → 管理作業 → **空き家・空き地**

空き家・空き地 → 活用 → 借り手 買い手

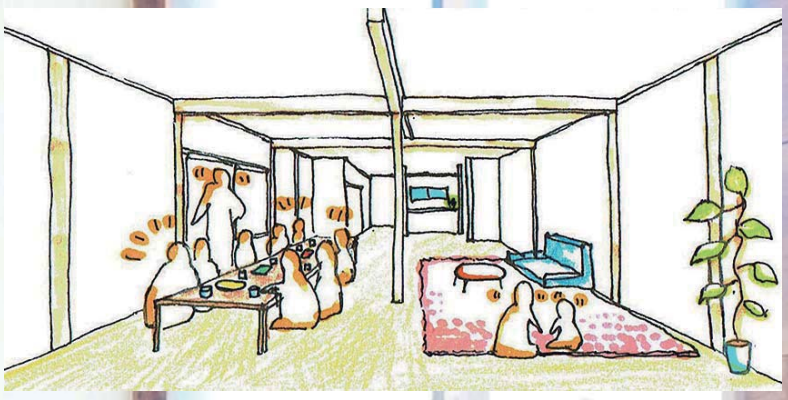
田辺を空家ゼロ地域へ！

田中事務所

暮らしの循環に寄り添う

子育て賃貸住宅

ー 人口減少と空き家問題に向き合う取組み ー



「つながる」という新しい仕組みの
子育て賃貸住宅でまちに活力を！

〈地域の課題〉
若い世代の減少
空き家の増加

＋

〈設計事務所の課題〉
住宅着工数減少
競争激化

＋

〈移住に関する統計〉
県内に来る移住者の
多くが田辺市へ移住

⇓

暮らしの循環に寄り添う「空き家発掘」から「定住」への仕組み

① 発掘 → ② 直す → ③ 暮らす → ④ 定住！

専門的な目で活用可能な空き家を発掘。

子育て層と一緒に快適な住まいに直す。

賃貸住宅での暮らしを通して地域に馴染じむ。

子供の成長などにともない持ち家へ住み替え。

「①発掘」から「④定住」までの暮らしの循環の中で「③ 暮らす」の期間はある程度長期になることが予想されます。
この期間に地域に馴染む体験を得ることは定住へのきっかけにつながるのかもしれない。
私たちは暮らしの循環に寄り添うチームを発足させ、移住者を含む子育て世帯と地域とをつなぐ役割を担います。

中島大介設計工房
中島康代

高垣工務店と創る 紀南のお仕事創造空間

～シリコンbar～

知理混場

高垣工務店の強み

お客様の声

で変化してきた会社

『高垣を頼ってくれる人がいっぱいいる』

一方で地域には課題が

やりたい事を語ると勝手に生まれる!! 仕事が生み出されるスペースが地域に必要!!

知理混場
～シリコンbar～

高垣工務店の強みを生かして

例えば

- かふぇばー — 出会って!
- 各種セミナー — 学んで!
- ワークショップ — 創造する!

自分たちの仕事は自分たちで創る!

～OYADO～ お宿

住民が事業者になる
工務店がお手伝いする
民泊FC

職場の提供

- 高齢者もお宿として、働く場とコミニケーションの場
- 発達しょうがいの子供達も働ける
- 副業 子育てしながら家でハンドメイドもできる
- 子育て世代の住む所と働く所とコミニケーションの場

→ 泊まる宿が増えるし
外貨が稼げる
会社も儲かる
結果 地域の問題解消に

株式会社　高垣工務店